

数 I 数と式

集合と要素：一定の条件を満たすものの集まりを**集合**といい，集合を構成している1つ1つのものをその集合の**要素**という。

要素： x が A の要素であるとき $x \in A$ x が A の要素でないとき $x \notin A$

包含関係： $A \subset B$ A の要素がすべて B の要素のとき， A は B に含まれる。
 $A = B$ A ， B の要素が全く一致しているとき

空集合： ϕ 要素が全くない集合

7 集合

A. 次の集合を要素を書き並べて表せ。

(1) $\{n \mid -3 \leq n \leq 4, n \text{は整数}\}$

(2) $\{x \mid x \text{は11以下の正の奇数}\}$

B. 1 から 10 までの自然数のうち，10 の約数全体の集合を A ，偶数全体の集合を B とする。次の集合の要素を書き並べて表せ。

(1) $A \cap B$ (2) $A \cup B$ (3) $\overline{A \cap B}$ (4) $\overline{A \cup B}$

A. (1) $\{-3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4\}$ (2) $\{1, 3, 5, 7, 9, 11\}$

B. (1) $\{2, 10\}$ (2) $\{1, 2, 5, 10\}$ (3) $\{4, 6, 8\}$ (4) $\{3, 7, 9\}$